

## 複数要素の属性をまとめて変更する方法【図面編集】

文書管理番号：1262-01

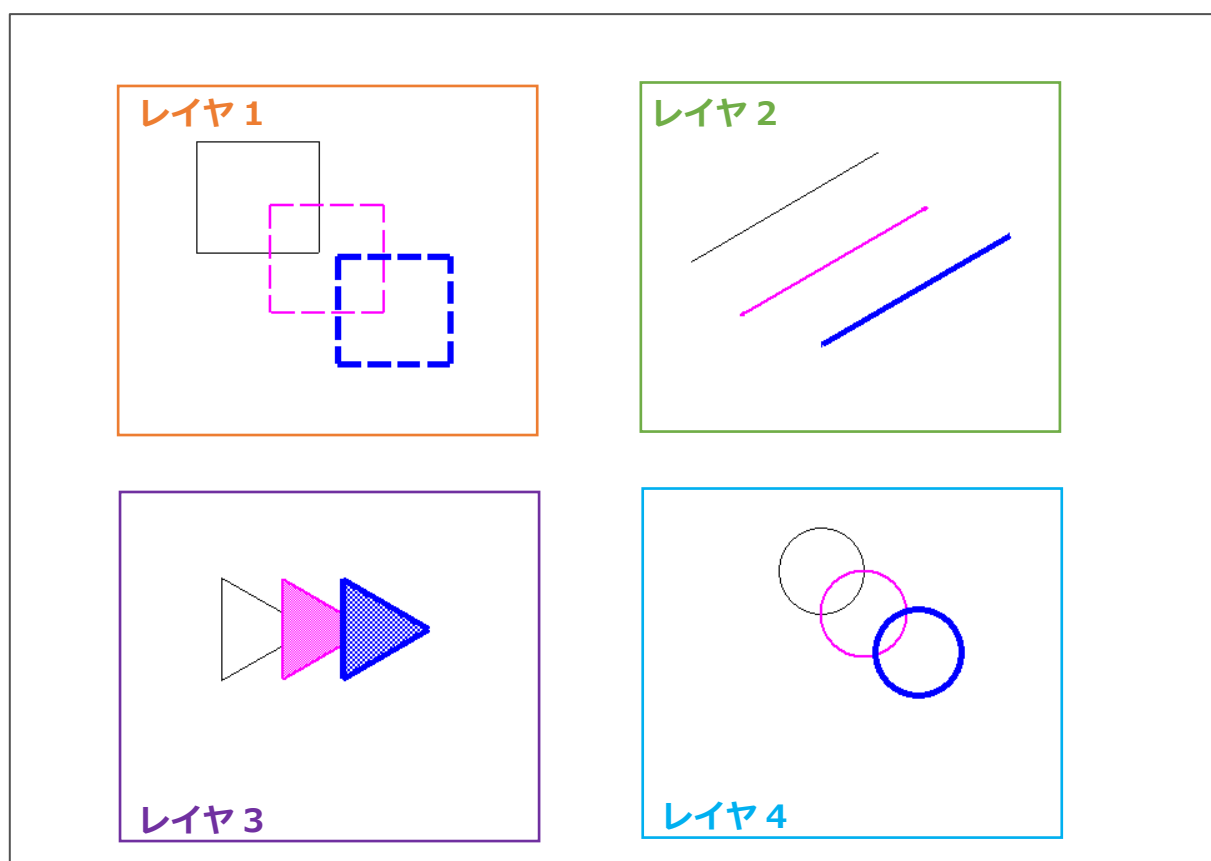
### Q. 質問

複数要素の線種や線色などの線属性や、レイヤをまとめて変更したい。


### A. 回答

図面編集で複数要素の属性をまとめて変更したい場合は、「オブジェクトプロパティ」または「属性変更」のいずれかを利用します。

ここでは、以下のような要素の属性を、一括で変更する方法を説明します。



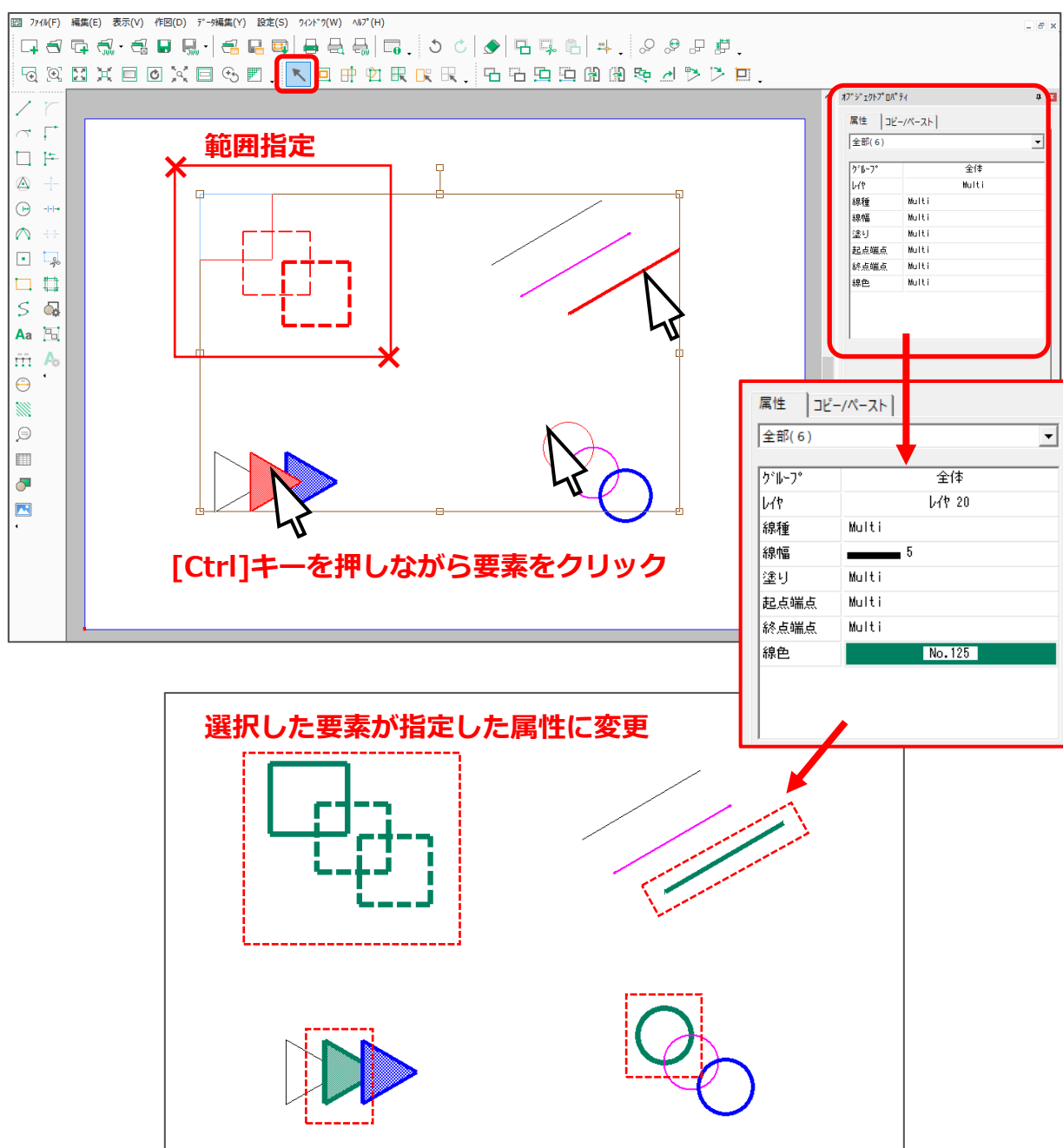
## オブジェクトプロパティから変更する方法

オブジェクトプロパティから変更する場合は、 (要素選択)で属性を変更したい要素を選択し、画面右側の「オブジェクトプロパティ」から、レイヤや線種・線色などの属性を変更します。

オブジェクトプロパティが表示されない場合は、こちらをご覧ください。


### [\[1263\] オブジェクトプロパティの表示方法【選択図面編集・図面編集】](#)

複数要素の属性をまとめて変更するには、範囲指定などで要素をまとめて選択するか、キーボードの[Ctrl]キーを押しながら対象となる要素を複数クリックして選択し、オブジェクトプロパティから属性を変更します。




\* ここでは、選択した複数の要素が「レイヤ 20」「線幅 5」「線色 No.125」になりました。

## 属性変更から変更する方法

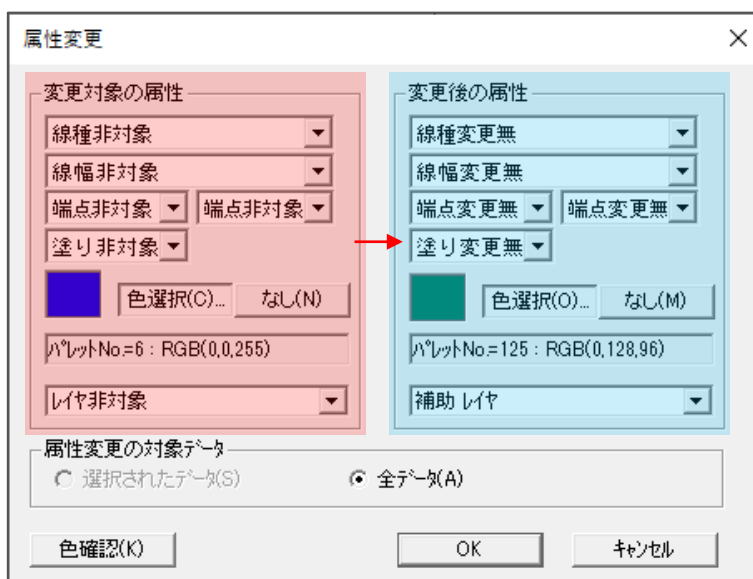
 (属性変更)を利用すると、入力済み要素の一部もしくは全データのうち、特定の属性の要素を対象として指定し、まとめて別の属性に変更することができます。

例えば、複数のレイヤに分かれた要素をまとめて補助レイヤに移動したり、「線色：青」で作図された要素をまとめて「線色：緑」に変更したりすることができます。また、条件を組み合わせることも可能です。

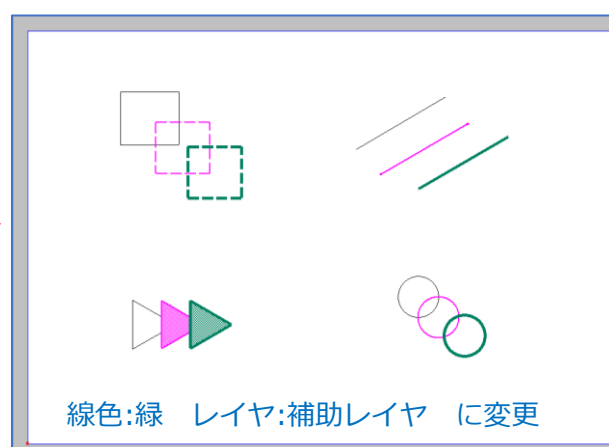
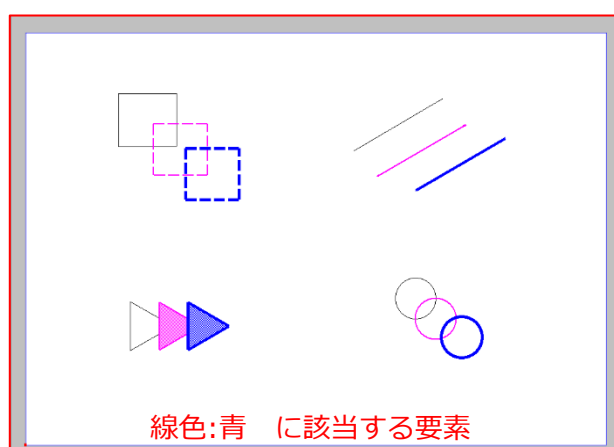
 (属性変更)をクリックして開きます。

- \* ツールバーの「データ編集」⇒「属性変更」から選択しても構いません。
- \* 右クリックメニューの「データ編集」⇒「属性変更」からも選択できます。

左側：  
変更対象とする  
属性を指定




右側：  
変更後の属性を  
指定



あらかじめ要素選択してから属性変更を実行した場合は、「属性変更の対象データ」の「選択されたデータ」が選択できるようになります。「選択されたデータ」を指定した場合、選択されたデータの中で、変更対象として指定した属性に当てはまる要素だけが、属性変更の対象となります。

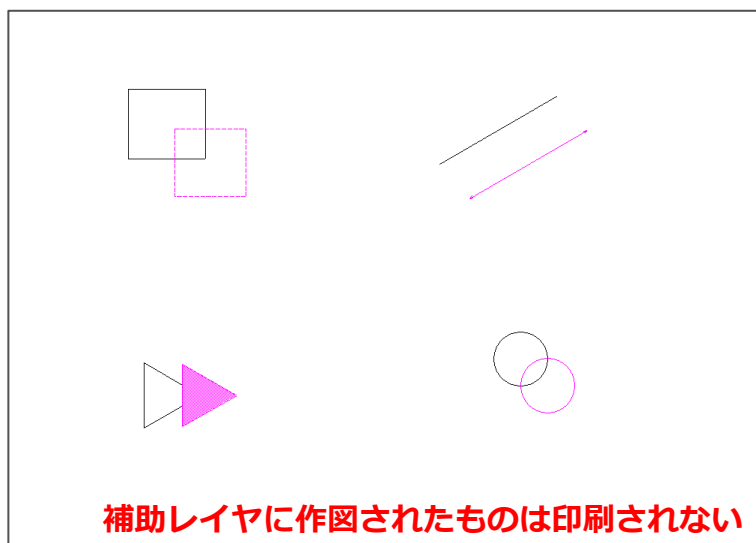
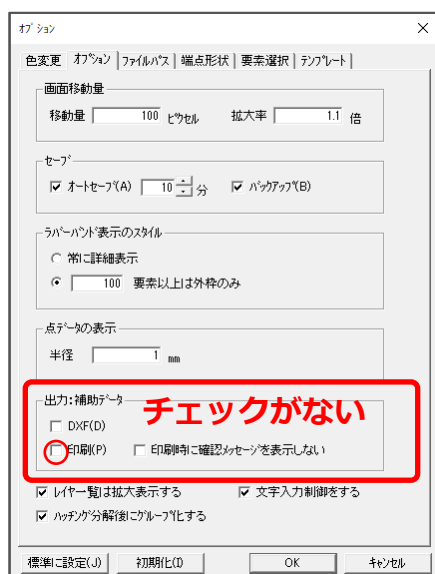
## 補助レイヤについて

補助レイヤは、画面右下の (補助モード)をクリックすると切り替えることができます。

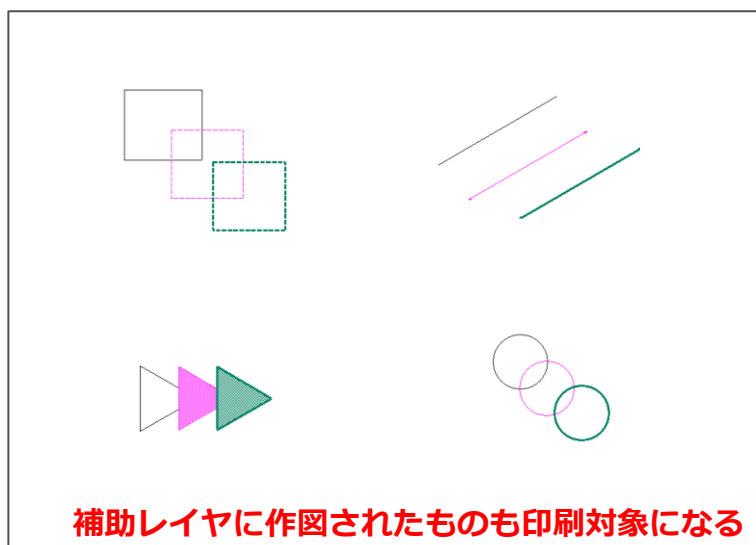
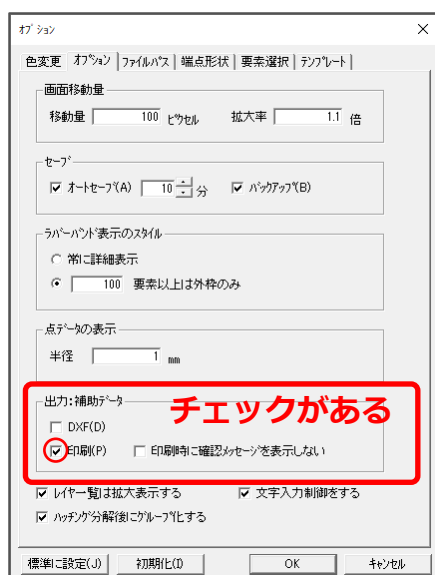
補助レイヤに作図したデータは、ツールバーの「設定」⇒「オプション」で表示される設定画面の「オプション」タブにある「出力：補助データ」より、印刷や DXF 出力の対象にするか否かを切り替えることができます。

作図時に入力したデータで、印刷したくない要素がある場合は、補助レイヤに設定しておくと便利です。

### 【補助レイヤは印刷対象外に設定】



### 【補助レイヤも印刷対象に設定】



あやまって補助レイヤに設定した場合は、P.2「オブジェクトプロパティから変更する方法」または P.3「属性変更から変更する方法」でレイヤを変更してください。